事務事業コード
 000100
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地区公民館事業
 所属名
 教育委員会事務局
 生涯学習・スポーツ課

1	其	木	恄	報

位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち 豊かな心をもった、たくましいひとづくり			事業期間	全期
ブロー	政策	01				根拠法令、	社会教育法
17 O	施策	1101	生涯学習の推進			根拠法市、根拠計画等	
+/-		目標の種	別	平成28年度	平成32年度	中国市级对	
担施	尚徳大学、鳥取市	民大学の延	べ参加者数	7,487人	9,000人	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	市民1人あたりの図	書貸出冊類	数	4.41冊	5.1冊	運営方法	外部委託
0,				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 地區	X公民館事	業費(生涯学習・スポー	·ツ課)		予算事業コード	01-09-04-06-07-01

2. 事業目的	
対象 (何を、誰を)	鳥取市に住む子ども
意図 (どのような状態 にするために)	ふるさとを大切にし、強い志を持つ子どもに育てる。
手段 (どうするのか)	各地区公民館が取り組む生涯学習事業を通じ、子どもたちのボランティア活動・体験活動等の機会を充実、支援することにより、地域で子どもたちを育てる環境整備を図る。

#### 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

Ο.	予木い	十及沙山區	大恨 LFLAN DO			二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	スクルグで 回流にした
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	<b>麦別計画</b>	①「子どもと大人のふ れあい事業」の中で、 子どものボランティア 活動や体験活動等の機 会充実	①「子どもと大人のふれあい事業」の中で、子どものボランティア 活動や体験活動等の機 会充実	①「子どもと大人のふ れあい事業」の中で、 子どものボランティア 活動や体験活動等の機 会充実	子どものボランティア	①「子どもと大人のふ れあい事業」の中で、 子どものボランティア 活動や体験活動等の機 会充実
容	年度	度別実績	①「子どもと大人のふ れあい事業」の実施 ・鳥取地域 510件 25,892人 ・新市域 306件 13,312人				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業	費(A+B)	21,281	0	0	0	(
事	直接	経費 A	21,281	0	0	0	(
業	古拉夘	国∙県	0	0	0	0	
費	直接経 費の財	地刀頂	0	0	0	0	
	源内訳	その他	0	0	0	0	
I		一般財源	21 281	0	0	0	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標 【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		「子どもと大人のふれあい事業」の増加参加人数(前年度比)	Y	目標	500	500	500	500	500
	1		人	実績	750	0	0	0	0
ᅩ		(指標の説明) 子どもたちのボランティ	ア活動	•体験活	動等の機会をは	曽やし、世代間の	の交流を促す。		
活動				目標	0	0	0	0	0
指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1234				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5.	平成28年度の事務事業実施概要	[DO]	※削年度の	取り組みを具体	・「リー記入し」) 身	事務争未の争	未似安と建助)
		【問合せ先】生涯学	習係 0857-20-3	3362			
		【10次総の施策体系	系】1101				
		【予算計上の経過】	予算事業別概要	要目次:当初予	·算・P251	(教072)	
		【事業の概要】 委託先:鳥取市公民 ・地区公民館62년 ・4事業に分類わり の裁量により設	館(内分館1館 けをして事業を		。事業費の配	分は基本的に名	<b>予地区公民館</b>
	事務事業の実施概要	【事業の成果】 (1)子どもと大人( 事業開催数(延) 参加人数(延)	のふれあい事業 82 38,68	笔 2.1 件		816件	
		(2)特色ある公民館 事業開催数(延) 参加人数 (延)	1, 58 20, 25	33件 56人 22,	470件 803人 2	484件 0,500人	
		(3)地域の仲間作事業開催数(延)	6 8				
		(4)人権啓発推進	17,58 事業				
		事業開催数(延) 参加人数 (延)	8, 01	)7件 15人 6,	201件 230人	176件 6,077人	
		【今後の課題・方向性 将来にわたり持続はなる。今後も各地区2 させることで、地域で	可能な地域づく 公民館において	て、地域の人が	集い、学び合		
6	活動指標の達成率【CHECK】						
	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指	指標名 「子どもと大人のふれあい事業」の増加参		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達	指標名 1 「子どもと大人のふれあい事業」の増加参 2 2			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標	指標名 1 「子どもと大人のふれあい事業」の増加参 2			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
上 提	指標名 1 「子どもと大人のふれあい事業」の増加参 2 3			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
上 提	指標名 1 1 2 2 2 2				平成30年度 平価の視点を踏		平成32年度
上 提	指標名 1 1 2 2 3 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点  在度計画の推挑度 □ 1.	加人数(前年度比)  評価内容 計画を上回る					平成32年度
指標達成率 7	指標名 1 「子どもと大人のふれあい事業」の増加参 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 **実績 タブの入力結果を基に、年度の事業 3が3月末時点でどのような進捗状況かを選	加人数(前年度比)					平成32年度
指標達成率 7	指標名 1 「子どもと大人のふれあい事業」の増加参 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 **実績 タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業のが里 1	加人数(前年度比)  評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了  目標を上回る					平成32年度
指標達成率   7   事記 指	指標を 1 「子どもと大人のふれあい事業」の増加参 2  3  評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 **実績]タブの入力結果を基に、年度の事業 別が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果  ② 2  ■ 1  □ 2	加人数(前年度比)  評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了					平成32年度
指標達成率   7   事記 指	指標名 1 「子どもと大人のふれあい事業」の増加参 2  3  評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 **実績]タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果 1 2	加人数(前年度比)  評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了  目標を上回る し目標を上回る					平成32年度
指標達成率 7 事配 事 指標	指標名 1 「子どもと大人のふれあい事業」の増加参 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 業実績 タブの入力結果を基に、年度の事業 週が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果	加人数(前年度比)  評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を上回る 目標を上のる					平成32年度
指標達成率 7 事配 事 指標	指標を 1 「子どもと大人のふれあい事業」の増加参 2  3  評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 **実績]タブの入力結果を基に、年度の事業 別が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果    3	加人数(前年度比)  評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を上回る 目標を下回る 同性【ACTION】	150%	評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)	
指標達成率 7 事配 事 指標	指標を 1 「子どもと大人のふれあい事業」の増加参 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 **実績]タブの入力結果を基に、年度の事業 別が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果    3 1	加人数(前年度比)  評価内容 計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を上のる 目標をおいり 自標を下回る にはがない。 はなき継続 現状維持	1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等	に拡充 に自然増加 の改善	平価の視点を踏 コ 4-1 意 コ 4-2 制 コ 5-1 臨	図的に縮小 ない 意的に がまる できまる できまる できまる できまる できまる かいこう できまる できまる できまる できまる かいこう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	>
指標達成率 7 事配 事 指標	指標名 1 1 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 **実績)タブの入力結果を基に、年度の事業 のが発表してください。 事業の成果  事業の成果を踏まえた今後の方  コースを表現してください。 コースを表現してくださいまする。これには、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、まま	加人数(前年度比)  評価内容 計画を上りり 事業未完了 目標を上のる 目標を下回る 目標を下回る の性【ACTION】  が改善継続 現状維持 が加	1-1 意図的 1-2 制度的	に拡充 (に放発地 のででである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	平価の視点を踏 コ 4-1 意 ロ 4-2 制	図的に縮小 ない 意的に 自然減少年実施廃止	>

 事務事業コード
 000200
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 子育で講座事業
 所属名
 教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

1	#	ł	#	#	
1	悬	$\mathbf{A}$	竹吉	文	ū

<sub>位</sub> 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち			事業期間	全期
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			根拠法令、	
17 O	施策	1101	生涯学習の推進			依拠法で、   根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	中国市级对	
目 世 策	尚徳大学、鳥取市	民大学の延	べ参加者数	7,487人	9,000人	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	市民1人あたりの図	書貸出冊類	数	4.41冊	5.1冊	運営方法	直営
٥٫				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 子青	育て講座開	設費			予算事業コード	01-09-04-02-12-01

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	小学校・幼稚園等の保護者
意図 (どのような状態 にするために)	家庭の教育力の向上を図るため
手段 (どうするのか)	家庭教育に関する学習機会を提供する。

3.	事業の	年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	<b>E別計画</b>			①保護者に対する家庭 教育の重要性を啓発す る機会を整備する	①保護者に対する家庭 教育の重要性を啓発す る機会を整備する	①保護者に対する家庭 教育の重要性を啓発す る機会を整備する
谷	年度		①子育で・親育ち講座 開催数 小学校 44校 幼稚園・保育園 8園				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	費(A+B)	2,247	0	0	0	0
事	直接	経費 A	2,247	0	0	0	0
業	古拉织	国•県	1,494	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
		一般財源	753	0	0	0	0

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標 【PLAN・DO】

	54111	ではスパッのことに天心した石刻の人と		7 1111/1/					
		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		子育で・親育ち講座開催数	口	目標	50	50	51	52	53
	1		ī	実績	52	0	0	0	0
\-T		(指標の説明)							
活動				目標	0	0	0	0	0
動指	2			実績	0	0	0	0	0
標		(指標の説明)							
1XX				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)			•	•			·

Г	平成28年度の事務事業実施		※削牛皮の	収り組みを具体		「事務事業の事	未似女 C 连到 /
Į		【問合せ先】生涯生	学習係 0857-20-3	3362			
		【10次総の施策体	本系】1101				
		【予算計上の経過】	予算事業別概	要目次:当初-	予算・P250	(教070)	
	事務事業の実施概要	する。(補助率:[ ・市内の小学校 調整し開設する。[ 用した子育て親育 <sup>†</sup>	・幼稚園等での 例)新小学1年 ち講座、幼児期の ては、基本的生活 的倫理観、社会的	/3 市1/3 「子育て・親育 生 (入学前) ( )子育て親育ち 5習慣、生活能 りマナー、自制	) ち講座」を家 のための子育で 講座] :力、豊かな情: 心や自立心な	庭教育支援チー 「講座、就学時 燥、他人への思 ど「生きる力」	- ムが企画・ 検診等を活 思いやり、善 の基礎的な
		【事業の成果】 H26年度 幼り H27年度 幼り H28年度 幼り	凡期講座 6回、	小学校入学前	講座 44回		
		【今後の課題・方により内容を充実しるうえで必要な事項保護者同士のつか	向性】 したものになるよ 頁を取り上げ、係	こう見直しなが R護者の家庭で	ら、今後も基 の教育力の向	上を図る。	
6	活動指標の達成率【CHEC						
0.		·K.】 標名	平成28年度	亚世00年度	平成30年度	平成31年度	東岸00左座
	1 11	13K 🗀	十八/20十尺	平成29年度	十成30十段	十成31十段	平成32年度
指	子育で・親育ち講座開催数	N 1	104%	平成29年及	十成30千良	十成31千段	平成32年度
標達	子育で・親育ち講座開催数 2	PK   I		十成29年度	十成30年度	十成31年度	平成32年度
標	子育で・親育ち講座開催数 2	DA FI		平成29年度	十成30年度	十成31年度	平成32年度
標達成率	子育で・親育ち講座開催数 2 3	DA FI		平成29年度	十成30平度	十成31年度	平成32年度
標達成率	子育で・親育ち講座開催数 2	評価内容			平価の視点を踏		平成32年度
標達成率	子育で・親育5講座開催数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の推挑度	評価内容 ] 1. 計画を上回る					平成32年度
標達成率 7.	子育で・親育ち講座開催数 2 3 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 株実績タブの入力結果を基に、年度の事業 1が3月末時点でどのような進捗状況かを選	評価内容 ] 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり ] 3. 事業未完了					平队32年度
標達成率 7. 事順比	子育で・親育ち講座開催数  2  3  評価【CHECK】 評価項目と評価の視点  年度計画の進捗度  ***実績19ブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。  事業の成果	評価内容 ] 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり ] 3. 事業未完了 ] ■ 1. 目標を上回る ] 2. 目標どおり					平队32年度
標達成率 7. 事間以 間	子育で・親育ち講座開催数  2  3  評価【CHECK】 評価項目と評価の視点  年度計画の進捗度  ***実績19ブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。  事業の成果	評価内容 ] 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり ] 3. 事業未完了 ] ■ 1. 目標を上回る ] 2. 目標どおり ] 3. 目標を下回る					平成32年度
標達成率 7. 事調U 指標を	子育で・親育ち講座開催数  2  3  評価【CHECK】 評価項目と評価の視点  年度計画の進捗度  業実績)タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。  事業の成果	評価内容  1.計画を上回る 2.計画どおり 3.事業未完了  1.目標を上回る 2.目標を上回る 1.目標を下回る 1.目標を下回る 1.の方向性【ACTION】	104%	評価理由(言	平価の視点を踏	まえて記入)	平成32年度
標達成率 7. 事調U. 指標を	日 子育で・親育ち講座開催数 日 日 子育で・親育ち講座開催数 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	評価内容  1. 計画を上回る  2. 計画どおり  3. 事業未完了  1. 目標を上回る  2. 目標を上回る  2. 目標を下回る  3. 目標を下回る  1. 1. 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	□ 1-1 意図的	評価理由(言	平価の視点を踏	まえて記入)	
標達成率 7. 事調U. 指標を	日 子育で・親育ち講座開催数 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	評価内容  1.計画を上回る 2.計画をおり  3.事業未完了  1.目標を上回る  2.目標をといり  3.目標をがいりる  1.証券を下回る  1.記券継続  1.記券継続  1.記券継続  1.記券継続  1.記券継続  1.記券継続	104%	に拡充 (に 位 の で の 能素化	平価の視点を踏 ロ 4-1 意[ ロ 4-2 制]	図的に縮小 を を は の に の の に の を の に の を の を の の の の の の の	>

平成28年度 第10次鳥取市総合計画 所属名 教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課 事務事業コード 000300 重点施策 事務事業名 高齢者生きがい促進総合事業

1	#	ł	#	#	
1	悬	$\mathbf{A}$	竹吉	文	ū

	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち			事業期間	全期
づ計で画	が画 政策 01 豊かな心をもった、たくま				ましいひとづくり		
17 O	施策	1101	生涯学習の推進			根拠法令、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	中国市级对	
目 世 策	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		7,487人	9,000人	事業分類区分	ソフト(任意)	
標の	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.41冊	5.1冊	運営方法	直営	
٥٫				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 高麗	ハ促進総合事業費			予算事業コード	01-09-04-01-15-01	

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	市民が学習しようと思ったとき「いつでも、どこでも、だれでも、だれとでも、何でも、いつまでも」学習できるような環境をつくるとともに、学習成果を地域に還元できるようにする。
手段 (どうするのか)	社会の動向や生涯各期の学習ニーズに対応した学習機会を充実させる。

3.	事業の	年度別計画	·実績【PLAN·DO】			※年度別の	取り組みを簡潔に記入
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	<b>麦別計画</b>	①尚徳大学の開催 ②高齢者人材活用事業	①尚徳大学の開催 ②高齢者人材活用事業	①尚徳大学の開催 ②高齢者人材活用事業		①尚徳大学の開催 ②高齢者人材活用事業
谷	年度	<b></b> 医別実績	①尚徳大学 講座開催回数 126回 参加者数 6,794人 ②高齢者人材活用 事業回数 6回 延参加者数 583人				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業領	貴(A+B)	1,705	0	0	0	0
事	直接	経費 A	1,705	0	0	0	0
業	±±±4▽	国・県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	854	0	0	0	0
		一般財源	851	0	0	0	0

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標 【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		尚徳大学受講者の満足度	%	目標	80	85	90	90	90		
	1		, -	実績	77.4	0	0	0	0		
,_		指標の説明) 受講者アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした受講者の割合									
活動		高齢者人材活用事業の市民教授登録者数	Y	目標	0	51	66	81	96		
動指	2		八	実績	41	0	0	0	0		
標		(指標の説明)登録者数を増やすこと	で、様々	な分野	における市民の	)学ぶ機会を増	やす。				
IVA				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)	•	•	•	•		•	·		

5. 平成28年度の事務事業実施概要				的に記入(予算	事務事業の事	業概要と連動)
	【問合せ先】生涯学習	習係 0857-20-3	3362			
	【10次総の施策体系	系】1101				
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目	次:当初予算·	P248 (教	065)		
	【事業の概要】 1 尚徳大学 ・高齢者の社会参加 ・地域で活躍する別 2 高齢者人材活用 優れた知識、技能 るいは助言者とし	活力ある高齢者 事業 能を有する地域	<b>着層を創出する</b>	. — •		
事務事業の実施概要	・延べ出席者数	会・健康・郷土 平成 2 6, 6		回 成 2 7 年度	平成28年度	F
	2 高齢者人材活用 ・登録者数 412 ・講演会等延べ参加	人	2.6年度 平 9.0人			
	【今後の課題・方向性 尚徳大学は、多種を ていく。高齢者人材を	多様な学習ニー				
6. 活動指標の達成率【CHECK】						
指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
尚徳大学受講者の満足度 指 1		97%				
標 高齢者人材活用事業の市民教授登録者数 <b>達 2</b>	ζ					
成						
率 3		1 ,		l i		
	·					
7 評価【CHECK】	_					
7. 評価【CHECK】 評価項目と評価の視点	評価内容			平価の視点を踏		
評価項目と評価の視点	計画を上回る		<b>評価理由</b> (討 いては計画通り :民館への周知・	講座を開催した	。高齢者人材活	5用事業につ
評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度  ■ 1. ■ 2. 「事業実績はプロの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選	計画を上回る		ハては計画通り	講座を開催した	。高齢者人材活	5用事業につ
評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度  □ 1. ■ 2.  [事業実績タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。  □ コ.  事業の成果	計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を上回る	いては分室・公中程度の評価。	いては計画通り :民館への周知 <sup>・</sup> より高い回答をし	講座を開催した や講師の派遣な	。高齢者人材活 さどを行った。	
評価項目と評価の視点  年度計画の進捗度  □ 1. ■ 2.  「事業実績」タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。  事業の成果  「指標」タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。  □ 3.	計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を上回る	いては分室・公	いては計画通り :民館への周知 <sup>・</sup> より高い回答をし	講座を開催した や講師の派遣な	。高齢者人材活 さどを行った。	
評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度  □ 1. ■ 2. 「事業実績)タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。 事業の成果 「指標)タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。 □ 3.	計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を上回る 目標どおり 目標を下回る	いては分室・公中程度の評価。	いては計画通り :民館への周知 <sup>・</sup> より高い回答をし	講座を開催した や講師の派遣な	。高齢者人材活 さどを行った。	
評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度  □ 1. ■ 2. 「事業実績タブの入力結果を基に、年度の事業 計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。  事業の成果 「指標/タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。  3. □ 3.	計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を上回る 目標どおり 目標を下回る	いては分室・公 中程度の評価。 を概ね達成した	いては計画通り :民館への周知・ より高い回答をし こ。	講座を開催したや講師の派遣な	。高齢者人材活 さどを行った。 合が前年度より	
評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度  □ 1. ■ 2. 「事業実績)タブの入力結果を基に、年度の事業 計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。 事業の成果 「指標)タブの入力結果を基に、年度末実績が1 標を達成できたかどうかを選択してください。  8. 事業の成果を踏まえた今後の方に □ 1.	計画を上回る 計画どおり 事業未完了 目標を上回る 目標どおり 目標を下回る 対性【ACTION】	いては分室・公中程度の評価。	いては計画通り 民館への周知ない 日本 に は の 日本 に は か れ に は か に は は は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は か に は は は は	講座を開催したや講師の派遣ない と講師の派遣ない とた受講者の割り	。高齢者人材活 さどを行った。 合が前年度より	高く、目標値
評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度  □ 1. ■ 2. 「事業実績タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。 事業の成果 「指標/タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。  8. 事業の成果を踏まえた今後の方に □ 1. ■ 2. 今後の方向性 □ 3.	計画を上回る 計画とおり 事業未完了 目標を上回る 目標を下回る 目標を下回る 可性【ACTION】 加強 が、 が、 が、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	いては分室・公 中程度の評価。 を概ね達成した 1-1 意図的 1-2 制度的 2-1 手段等	いては計画通り :民館への周知・ より高い回答をし こ。 に拡充 に自然増加 の改善	講座を開催したや講師の派遣な 上た受講者の割 □ 4-1 意図 □ 4-2 制版 □ 5-1 臨4	。高齢者人材活 さどを行った。 合が前年度より 図的に縮小 度的に自然減少 手実施等、意図	高く、目標値
評価項目と評価の視点  年度計画の進捗度  □ 1. ■ 2.  □ 3. □ 3. □ 3. □ 3. □ □ 1. □ 3. □ □ 3. □ □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 2. □ 3. □ □ 1. □ 3. □ □ 1. □ 4. □ 5.	計画を上回る 計画とおり 目標を上回る 目標をおり 目標を下回る 対性【ACTION】 が改善継続 現状れ	いては分室・公 中程度の評価。 を概ね達成した 1-1 意図的 1-2 制度 2-1 手段率化 2-2 効事 2-3 他事業	いては計画通り :民館への周知・ より高い回答をし に拡充 に自然善 に自改善 、簡素化 との統合	講座を開催したや講師の派遣な にで講師の派遣な にで講者の割 ロ 4-1 意図 ロ 4-2 制版 ロ 5-1 臨4 ロ 5-2 意図 ロ 5-3 制版	。高齢者人材活 などを行った。 合が前年度より <b>図的に縮小</b> 度 <b>1</b> 度 <b>1</b> 度 <b>1</b> 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 の に ん に え 。 気 の に ん え う の に を う と う と う と う と う と う と う と う と う と う	高く、目標値 、 <b>・</b> <b>・</b>

事務事業評価シート 平成28年度 第10次鳥取市総合計画 所属名 教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課 事務事業コード 000400 重点施策 事務事業名 市民大学開設事業

1	基	本	情	報	

位総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち			事業期間	全期
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			根拠法令、	
けの	施策	1101	生涯学習の推進		根拠法市、 根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	中国市级对	
目施	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数			7,487人	9,000人	事業分類区分	ソフト(任意)
母策の	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.41冊	5.1冊	運営方法	直営	
•,				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 市日	<b>圣大学開設</b>	費			予算事業コード	01-09-04-01-16-01

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	市民が学習しようと思ったとき「いつでも、どこでも、だれでも、だれとでも、何でも、いつまでも」学習できるような環境をつくるとともに、学習成果を地域に還元できるようにする。
手段 (どうするのか)	社会の動向や生涯各期の学習ニーズに対応した学習機会を充実させる。

3.	事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを簡潔に記入										
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度				
内容	年度	別計画	①市民大学の開催	①市民大学の開催	①市民大学の開催	①市民大学の開催	①市民大学の開催				
谷	年度	別実績	①市民大学 講座開催教 30回 延参加者教 693人								
	[	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)				
	事業費	貴(A+B)	198	0	0	0	0				
事	直接	経費 A	198	0	0	0	0				
業	± ++ 47	国∙県	0	0	0	0	0				
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0				
	源内訳	その他	0	0	0	0	0				
		一般財源	198	0	0	0	0				

1	咨消を427	、 オスニレで宝施	した活動の大きさを表す指標	

	指標名		単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
	1	尚徳大学受講者の満足度	%	目標	80	85	90	90	0		
			, -	実績	77.4	0	0	0	0		
,_		指標の説明)受講者アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした受講者の割合									
活動	2	市民大学の延べ参加者数	Į.	目標	0	800	900	1000	0		
動指			人	実績	693	0	0	0	0		
標		(指標の説明)年間の延べ人数									
IVA				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)		•			•	•			

5.	平成28年度の事務事業実施	心似女【ロロ】	小門十段の状況	7個ので 六円	ロハーロロンくく ユチ	- T 17 T A V T	業概要と連動)
		【問合せ先】生涯学					
		【10次総の施策体	:系】1101				
		【予算計上の経過】 予算事業別概要目	次:当初予算・F	'248(教	066)		
		【事業の概要】 市民が「いつでも る環境の整備を目的 な学習活動の場とし	」とする。鳥取市に	在住、また			
	事務事業の実施概要	【事業の成果】 ・山陰海岸ジオパ・健康スポーツ講・国際理解講座 ・社会講座 ・鳥取放送文化講・郷土の歴史講座 参加者数(延)	年 年 詳座 年 至 平成 2 6 年	5回(前期) 5回(前期) 6回(後期) 3回(後期) 6回(後期) 6度 平成	) ) )	平成28年度 693人	
		【今後の課題・方向 高齢者生きがい促 差別化を図りながら	進事業と重複しな			層的な内容なと	ご他の事業と
_	ても比価の法式を「OUC	2014					
6.	活動指標の達成率【CHE オープログラス	:CK】 指標名	┃ 平成28年度 ┃ ፯	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指	尚徳大学受講者の満足度	810.5	97%				
標達	市民大学の延べ参加者数 2		+ +				
成 率	3		<del>                                     </del>	<del></del>			
	1 1						
	評価【CHECK】	57 FR 4 ds					
	評価項目と評価の視点	評価内容	乳面流の鎌瓜を賜		<u>「</u> 価の視点を踏	まえて記入)	
	評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり	計画通り講座を開			まえて記入)	
[事業計画)	評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月実験もでどのような進齢状況かを選	□ 1. 計画を上回る		見催することが	できた。		
[事業計画)	評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 Cください。 事業の成果	<ul><li>□ 1. 計画を上回る</li><li>■ 2. 計画どおり</li><li>□ 3. 事業未完了</li><li>□</li><li>□ 1. 目標を上回る</li></ul>	参加者数がH274	<b>尾することが</b> 年度と比べて	できた。 減少している。	H28年度は大気	雪だったことが
[事業計画) 択して	評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績はプロ人力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果	<ul><li>□ 1. 計画を上回る</li><li>■ 2. 計画どおり</li><li>□ 3. 事業未完了</li><li>□ □</li><li>□ 1. 目標を上回る</li><li>□ 2. 目標どおり</li></ul>		<b>尾することが</b> 年度と比べて	できた。 減少している。	H28年度は大気	雪だったことが
[事業計画) 択して	評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果 引到の入力結果を基に、年度末実績が目 連成できたかどうかを選択してください。	<ul><li>□ 1. 計画を上回る</li><li>■ 2. 計画どおり</li><li>□ 3. 事業未完了</li><li>□</li><li>□ 1. 目標を上回る</li></ul>	参加者数がH274	<b>尾することが</b> 年度と比べて	できた。 減少している。	H28年度は大気	雪だったことが
[事業計成して	評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果 引引の入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。	<ul><li>□ 1. 計画を上回る</li><li>■ 2. 計画どおり</li><li>□ 3. 事業未完了</li><li>□ □ 1. 目標を上回る</li><li>□ 2. 目標どおり</li><li>■ 3. 目標を下回る</li><li>□</li></ul>	参加者数がH274	<b>尾することが</b> 年度と比べて	できた。 減少している。	H28年度は大気	雪だったことが
[事業計成して	評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績的プの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 でください。 事業の成果 別タブの入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。	<ul> <li>□ 1. 計画を上回る</li> <li>■ 2. 計画どおり</li> <li>□ 3. 事業未完了</li> <li>□ 1. 目標を上回る</li> <li>□ 2. 目標どおり</li> <li>■ 3. 目標を下回る</li> <li>□</li> </ul>	参加者数がH274	再催することが 年度と比べて 者数に影響を	できた。 減少している。	H28年度は大 れる。	雪だったことが
[事業計成して	評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 注集観タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果 即タブの入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。 事業の成果を踏まえた今後	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画どおり □ 3. 事業未完了 □ □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標どおり ■ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充 ■ 1. 拡充 ■ 2. 改善継続	参加者数がH279後期講座の参加を 後期講座の参加を 1 1-1 意図的に 1 1-2 制度的に	再催することが 年度と比べて 者数に影響を 拡充 自然増加	できた。 減少している。 与えたと考えら ロ 4-1 意 ロ 4-2 制	H28年度は大いれる。 れる。 図的に縮小 度的に自然減少	,
[事業計成して	評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績別タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 てください。 事業の成果 即分プの入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。 事業の成果を踏まえた今後 今後の方向性	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画とおり □ 3. 事業未完了 □ □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標とおり ■ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充 □ 1. 拡充 ■ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持	参加者数がH27 後期講座の参加 1 1-1 意図的に 1 1-2 制度的に 1 2-1 手段等の	再催することが 年度と比べて 者数に影響を 拡充 自然増加 改善	できた。 減少している。 与えたと考えら ロ 4-1 意 ロ 4-2 制 ロ 5-1 臨4	H28年度は大いれる。 図的に縮小 度的に自然減少 手実施等、意図	,
[事業計成して	評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 注意観らずの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 でください。 事業の成果 配見がの入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。 事業の成果を踏まえた今後 今後の方向性	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画とおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標とおり ■ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充 □ 1. 拡充 ■ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持 □ 4. 縮小	参加者数がH27 後期講座の参加を 3 1-1 意図的に 1 1-2 制度的に 2-1 手段等の 2-2 効率化、領	年度と比べて を を を を を を を を を を を を を	できた。 減少している。 与えたと考えら ロ 4-1 意 ロ 4-2 制 ロ 5-1 臨4 ロ 5-2 意	H28年度は大いれる。 図的に縮小 度的に自然減少 平実施等、意図 図的に廃止	,
[事業計画] おいまま 「指標を注意を注意を注意を注意を注意を注意を注意を注意を注意を注意を注意を注意を注意を	評価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 実績別タブの入力結果を基に、年度の事業 が3月末時点でどのような進捗状況かを選 でください。 事業の成果 引タブの入力結果を基に、年度末実績が目 達成できたかどうかを選択してください。 事業の成果を踏まえた今後 今後の方向性	□ 1. 計画を上回る ■ 2. 計画とおり □ 3. 事業未完了 □ 1. 目標を上回る □ 2. 目標とおり ■ 3. 目標を下回る □ 1. 拡充 □ 1. 拡充 ■ 2. 改善継続 □ 3. 現状維持 □ 4. 縮小	参加者数がH274後期講座の参加を 3 1-1 意図的に 3 1-2 制度的に 4 2-1 手段等の 3 2-2 効率化、領 3 2-3 他事業との	年度と比響を <b>拡</b> 会 <b>が</b> 会 <b>が</b> 会 <b>が</b> 会 <b>が</b> 会 <b>が</b> 会 <b>が</b> 会 <b>が</b> 会 <b>が</b> 会	できた。 減少している。 与えたと考えら ロ 4-1 意 ロ 5-1 臨4 ロ 5-1 臨4 ロ 5-2 意 ロ 5-3 制	H28年度は大いれる。 図的に縮小 度的に自然減少 手実施等、意図 図的に廃止 度的に終了	,

 事務事業コート
 000500
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 図書館情報管理システム処理事業
 所属名
 教育委員会事務局
 中央図書館

_	ŧ	h	干	+	
1	悬	$\mathbf{\Lambda}$	作吉	ΨI	Ū

	113 116						
位 総	体系区分	コード	名 称			事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち			事業期間	平成28年度 ~ 全期
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たく	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			
17 O	施策	1101	生涯学習の推進		根拠法令、 根拠計画等		
+/-	目標の種別		平成28年度	平成32年度	似灰山画寺		
目 世 策	尚徳大学、鳥取市	民大学の延	べ参加者数	7,487人	9,000人	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	市民1人あたりの図	図書貸出冊数		4.41冊	5.1冊	運営方法	直営
٥٫				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算 予算事業名 図書館情報管理システム処理費			予算事業コード	01-09-04-09-06-01		

#### 2. 事業目的【PLAN】

4. 事未口的	( LAN
対象 (何を、誰を)	図書館3館、コミュニティセンター図書室6室及び市立病院図書室の利用者情報、所蔵資料に関する情報、予約・貸出状況等の管理
意図 (どのような状態 にするために)	図書館利用者情報などを適正に管理することで、市民に迅速、正確、公平な図書館サービスを提供し、利便性・効率性・経済性の向上を図る。
	平成24年度に更新した図書館情報管理システムを適正に運用し、利用者情報、所蔵資料情報等の管理を行い、利用者自身がインターネットから本の予約、予約状況の確認、貸出の延長などを行えるようにするとともに、予約した本が正確・迅速に利用者に貸出せるようにする。また、中央図書館においては、本の自動貸出機、自動返却機の運用により、利用者の利便性の向上を図る。

3. 事業の年度別計画・実績 【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>3.</u>	事業の2	牛度別計画	·美稹【PLAN·DO】			※年度別の	<u>取り組みを間深に記入</u>
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度	<b>麦別計画</b>		①図書館コンピュータ システムの効率的な運 用により、利用者の利 便性の向上と業務の効 率化を図る。	①平成31年2月に図書 館コンピュータシステ ムの更新を行う。	①図書館コンピュータ システムの効率的な運 用により、利用者の利 便性の向上と業務の効 率化を図る。	①図書館コンピュータ システムの効率的な運 用により、利用者の利 便性の向上と業務の効 率化を図る。
谷	年度	<b></b> 医別実績	①コンピュータシステ ムによる効率的運用お よびサービス向上 ・図書館3館、図書室6 室及び市民病院図書室 の一体的運用管理 ・読書記録の提供				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	費(A+B)	29,052	0	0	0	0
事	直接	経費 A	29,052	0	0	0	0
業	古拉奴	国•県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	65	0	0	0	0
		一般財源	28,987	0	0	0	0

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		セルフ利用率の拡大(中央図書館における自動貸出機・返却機の利用率)	%	目標	45	47	49	51	53
	1	1及・込み1及り/平月 平月	70	実績	46	0	0	0	0
,_		(指標の説明)情報管理システム処理	性数(質	<b>拿出返去</b>	リセルフ利用冊	数/総貸出返却	処理冊数)基準	値は27年度実施	漬
活動		個人貸出冊数	冊	目標	890000	891000	892000	893000	894000
動指	2		IIII	実績	839356	0	0	0	0
標		(指標の説明)情報管理システム処理	件数([	図書館3:	館、図書室6室、	市立病院で処	理した個人貸出	台の冊数)	
IVA		インターネット(館内蔵書検索端末を含)による予約の割合	%	目標	66.4	66.5	66.6	66.7	66.8
	3	ਜਾ <b>ਹ</b>	/0	実績	65.1	0	0	0	0
		(指標の説明) インターネットによる予	約の件	数/総予	約件数(基準値	は27年度実績	)		

5. 平成28年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の耳	収り組みを具体的	に記入(予算事務	事業の事業概要と連動
	【問合せ先】中央図書	館 0857-27-5	5182		
	【10次総の施策体系】	1101			
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次	: 当初予算・	P263(教0	95)	
	、図書館情報管理シス することで、市民等に 済性の向上を図った。	テムを運用し 迅速、正確、	た。これにより 公平な図書館サ	、図書館利用者情 ービスを提供し、	利便性・効率性・経
	また、メンテナンス の向上を図った。	の範囲でバー	・ジョンアップ行	い、読書記録を携	是供するなどサービス
事務事業の実施概要	【事業の成果】 蔵書冊数 利用者登録数 個人貸出 団体貸出 予約受付 中央図書館入館者数 決算額 【今後の課題・方向性	29, 052千円 :】 ションアップを	99,067冊 148,042件 394,674人 28,963千円		ጆ化を図り、相談業務

6. 活動指標の達成率【CHECK】 指標名

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指	1	セルフ利用率の拡大(中央図書館における自動貸出機・返却機の利用率)	102%				
標達成	2	個人貸出冊数	94%	94%			
率	3	インターネット(館内蔵書検索端末を含)による予約の割合	98%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度		利用者情報、所蔵資料情報等の管理を行い、利用者の利便性の向上と、効率的な図書館運営を行った。
[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。	□ 3. 事業未完了	
事業の成果  [指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。	□ 2. 目標どおり ■ 3. 目標を下回る	中央図書館のセルフ利用については目標を上回ることができた。個人貸出 冊数は目標をわずかに下回ったが概ね達成していると考える。全国的にも 減少傾向にあり、本市も例外ではない。要因としては人口減、インターネット の普及など社会的な要因があげられる。

#### 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

	X ** / J   J   T   L   ( C   1   C   1   C   1   C   1   C   C		
	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
	保守の範囲でバージョンアップを ションの充実を図る。	進化しており、利用者にも職員にも利便性が を行い、一層の利便性の向上や、効率化を図	高い。 ることで相談業務の時間を創出し、利用者とのコミュニケー

 事務事業コート
 000600
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 地域社会教育活動総合事業
 所属名
 教育委員会事務局
 中央図書館

	ţ	_	Ī	‡	
1	Ħ	$\mathbf{x}$	小手	잸	

位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てがで	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち			平成28年度 ~ 全期
づ問け	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			根拠法令、	図書館法、鳥取市立図書館の
17 O	施策	1101	生涯学習の推進			根拠法市、 根拠計画等	設置及び管理に関する条例
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10次60回寸	
担無無	尚徳大学、鳥取市	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		7,487人	9,000人	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	市民1人あたりの図	ったりの図書貸出冊数		4.41冊	5.1冊	運営方法	直営
0,				0	0	会計区分	一般会計
予笪	予算事業名 地地	或社会教育	活動総合事業費	動総合事業費			01-09-04-09-05-01

2	事業日的	1 <b>[</b> D	I IA A I
	<b>**</b> * H In		AIVI

2. 事業日的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	子どもから大人までの市民等及び読み聞かせ等のボランティア
意図 (どのような状態 にするために)	市民等が本に親しむ機会を得ることにより、幼い時期から読書の習慣を身につけ、自ら考え、行動するために、必要な知識や情報を得て、自己実現を図るとともに、生涯にわたって心豊かな暮らしを送るため。また、地域文化の発展に寄与するため。
手段 (どうするのか)	子どもの読書活動を推進するため、ブックスタート事業の協力、「おはなし会」等の事業の実施をするとともに、絵本の読み聞かせ等ボランティア養成講座の実施。 また、一般向け講座の実施。事業の展開にあたっては、広報媒体を活用して積極的な周知を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>J.</u>	事業の:	牛皮別計画	·美稹【PLAN·DO】			※年度別の	<u>取り組みを間深に記入</u>
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容				おはなし会や各種講座 を中心とした生涯学習 活動とボランティアな どの社会貢献を促進す とともに、高齢者向け の「音読教室」を実施 するなど読書活動の推 進を図る。	活動とボランティアなどの社会貢献を促進すとともに、高齢者向けの「音読教室」を実施するなど読書活動の推	おはなし会や各種講座 を中心とした生涯学習 活動とボランティアな どの社会貢献を促進す とともに、高齢者向け の「音読教室」を実施 するなど読書活動の推 進を図る。	おはなし会や各種講座 を中心とした生涯学習 活動とボランティアな どの社会貢献を促進す とともに、高齢者向け の「音読教室」を実施 するなど読書活動の推 進を図る。
古 I	年度	<b>E</b> 別実績	①読書活動の推進 ?おはなし会、親子を 対象にした講座の実施 ?ブックスタート事業 支援?読み聞かせボラ ンティア養成講座の実 施?音読教室一般向け 講座の実施?読書通帳 の配布?まちライブラ リーの設置				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費	貴(A+B)	751	0	0	0	0
事	直接経費 A		751	0	0	0	0
業	古拉奴	国•県	0	0	0	0	0
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0
	源内訳	その他	0	0	0	0	0
I	1	一般財源	751	0	0	0	0

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		おはなし会、各種講座への参加者数(3館)	Į.	目標	4982	5007	5032	5057	5082
	1		人	実績	5433	0	0	0	0
ュ		(指標の説明) おはなし会、読み聞かせボランティア養成講座等への参加者数							
活 動		受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率	%	目標	65	65.5	66	66.5	67
指	2	л <u>е</u> +-	70	実績	84.2	0	0	0	0
標		(指標の説明) 受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率(実施予定含む)							
1,721				目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

		(つら)
5. 平成28年度の事務事業実施概要	[DO]	※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)
	【問合せ先】中央図書	館 0857-27-5132
	【10次総の施策体系	1 1101
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次	: 当初予算・P 2 6 2 (教 0 9 4)
	<ul><li>2 読み聞かせボラン</li><li>3 文字・活字の日記</li></ul>	「おはなし会」の実施 、ティア養成講座の実施
事務事業の実施概要	<ul><li>1 読み聞かせボラン 割以上の人の実践に</li><li>2 おはなし会に妊婦</li></ul>	やその家族の参加も推奨するなど、子育て支援を行った。 -を設置し、様々な場所に本がある空間が増え、本で人がつながる
	0 10-1111111	- 一層推進するためには、本が身近にある環境を手助けする人がいる ランティア養成などの事業の効果を検証し、市民ニーズを取り入れ

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指	1	おはなし会、各種講座への参加者数(3館)	109%				
標達成	2	受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率	130%	130%			
率	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度	■ 2. 計画どおり	予定していた事業は計画どおり実施するとともに、新規の「まちライブラリー」 の設置も多くの本の提供(市民から約200冊)を受けて設置することができ
[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業 計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選 択してください。	□ 3. 事業未完了	た。 
事業の成果  「指標」タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。	□ 2. 目標どおり	図書館事業への参加者数、ボランティア養成講座参加者の実践に結びついた割合が目標を上回っている。昨年度の実績から目標値を設定したが、次年度に向けては、目標値を見直す必要がある。

### 8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

	□ 1. 拡充	□ 1-1 意図的に拡充	□ 4-1 意図的に縮小
	■ 2. 改善継続	□ 1-2 制度的に自然増加	□ 4-2 制度的に自然減少
今後の方向性	□ 3. 現状維持	■ 2-1 手段等の改善	□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	□ 4. 縮小	□ 2-2 効率化、簡素化	□ 5-2 意図的に廃止
	□ 5. 休止、廃止、終了	□ 2-3 他事業との統合	□ 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)	効果を検証し、市民ニーズを取り	ためには、本が身近にある環境を手助けする 入れながら必要な事業を企画していく。	人がいることが重要である。ボランティア養成などの事業の

事務事業コード 該当なし 000700 重点施策 平成28年度 第10次鳥取市総合計画 事務事業名 図書購入事業 所属名 教育委員会事務局 中央図書館

1	#	ł	#	#	
1	悬	$\mathbf{A}$	竹吉	¥	ū

める。

源内訳

-般財源

位 総	体系区分	コード		名 称			区分
置計	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち			事業期間	平成28年度 ~ 全期
位置づけ	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり			担物社会	図書館法・鳥取市図書館の設置
17 O	施策	1101	生涯学習の推進			根拠法令、 根拠計画等	及び管理に関する条例
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	10次60回寸	
担無を	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		7,487人	9,000人	事業分類区分	ソフト(義務)	
標の	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.41冊	5.1冊	運営方法	直営	
0,				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算   予算事業名   図書購入費					予算事業コード	01-09-04-09-08-01

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	市民の利用に供するための図書館の蔵書
意図 (どのような状態 にするために)	市民等が自らが生涯にわたって学び、自己実現を図るとともに、さまざまな課題についても自ら判断できるよう、さまざまな知識や情報を身近な拠点で容易に入手できるようにする。
手段 (どうするのか)	一般図書・児童図書・参考図書・郷土資料及び新聞・雑誌等の定期刊行物を購入し、整備する。 選書にあたっては、資料収集方針により図書館3館とコミュニティセンター図書室6室でバランスのとれた蔵書 構成を図り、限られた財源を有効に活用する。また、市民のリクエストや現代的な課題に関する資料の充実に努

3.	事業の年度別計画	·実績【PLAN·DO】			*
		平成28年度	平成20年度	平成30年度	亚成31

《年度別の取り組みを簡潔に記入 平成31年度 平成32年度 一般図書・児童図書 一般図書・児童図書 一般図書・児童図書 一般図書・児童図書 -般図書・児童図書 ·参考図書·郷土資料 ·参考図書·郷土資料 ·参考図書·郷土資料 参考図書・郷土資料 ·参考図書·郷土資料 及び新聞・雑誌等の定 及び新聞・雑誌等の定 及び新聞・雑誌等の定 及び新聞・雑誌等の定 及び新聞・雑誌等の定 期刊行物を購入し、整 期刊行物を購入し、整 期刊行物を購入し、整 期刊行物を購入し、整 期刊行物を購入し、整 備する。 選書にあたっては、 資料収集方針により、 年度別計画 バランスのとれた蔵書 構成を図る。 バランスのとれた蔵書 構成を図る。 バランスのとれた蔵書 構成を図る。 バランスのとれた蔵書 構成を図る。 バランスのとれた蔵書 構成を図る。 容 ①参考図書・郷土資料 及び新聞・雑誌等の定 期刊行物を購入し、整 備した 18,941冊購入 (内、視聴覚資料119 年度別実績 点) 予算額(千円) 区分 決算額(千円) 計画額(千円) 計画額(千円) 計画額(千円) 36,224 事業費(A+B) 0 0 0 0 直接経費 A 36,224 0 0 0 0 事 国·県 0 0 0 0 0 業 直接経 費 地方債 0 0 0 0 0 費の財 その他 36,224 0 0 0 0

1	答消なし 1	オスーレで宝佐し	た活動の大きさを表す指標	

0

		指標名		区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		新規購入図書年間貸出回数		目標	9.6	9.7	9.8	9.9	10		
	1		口	実績	9.1	0	0	0	0		
ът.		(指標の説明) 新規購入図書貸出回数(年度内新規購入図書貸出累計÷新規購入図書冊数×2)									
活動				目標	0	0	0	0	0		
動指	2			実績	0	0	0	0	0		
標		(指標の説明)									
12A				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)	•	•	•	•	•	•			

0

0

0

0

5	. 平成	28年度の事務事業実施	施概要	【DO】 【問合せ先】	тт	<b>※前年度</b> <i>0</i> 図書館 0857	)取り組みを具体	的に記入(予算	事務事業の事	業概要と連動)	
							-21-9102				
				【10次総の施策	<b>賃体系</b> 】	1101					
				【予算計上の紹	E過】7	なし					
							展に寄与するた どの図書、視聴				
				【事業の成果】 平成26年度:37,529千円 20,832冊購入(雑誌除く) 平成27年度:36,170千円 19,362冊購入(〃) 平成28年度:36,234千円 18,941冊購入(〃)							
	事務事業の実施概要			【今後の課題・方向性】 1 社会情勢をとらえながら、多様な考え方や新しい情報を豊富に整備する。 2 県立図書館や他の自治体の図書館との連携を行い、サービスの充実を図るとともに 、資料のデジタル化や電子書籍の研究、検討を行う。							
6	江岳	ᅷᄺᄼᇂᇠᇂᆘᇬᇅ	-01/ <b>1</b>								
			じた』 指標名			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
ŧ	<b>á</b> 1	新規購入図書年間貸出回数				95	%				
村	[ 2						1				
万	t — ≅ 3										
	ľ										
7	. 評価	i【CHECK】 i項目と評価の視点		延生中央		ı	氢化甲毒 / 含	亚年の知 上ナ欧	:ナニ <i>マ</i> =フ 1 \		
			<u> </u>	評価内容 計画を上回る		評価理由(評価の視点を踏まえて記入) 利用者のニーズや社会情勢をとらえながら選書を行い、必要な資料を購					
計	業実績]ダ	での入力結果を基に、年度の事業に時点でどのような進捗状況かを選		計画どおり 事業未完了	入、整備を行った。						
אל	CVICE	事業の成果	<u> </u>	目標を上回る目標どおり		購入した図書には、棄損などで買替をしたものも含まれるため、純粋に新刊図書の利用冊数になっていないため。分析については、今後の課題。					
				目標を下回る							
_	د →			5 htt	•						
8	. 爭業	<u>の成果を踏まえた今後</u> 	で □ 1.			1-1 意図的	内に拡充	□ 4−1 意[	図的に縮小		
ĺ				改善継続 現状維持		1-2 制度的 2-1 手段等	内に自然増加	□ 4-2 制	度的に自然減少 年実施等、意図		
1								□ 5-1 臨		サンストレール・エ	
			□ 4.	划日 71、		2-2 効率(					
			□ 5.	<b>柚小</b> <b>休止、廃止、終</b> 勢をとらえながら、多	7 🗆	2-3 他事	業との統合 しょうしょう		度的に終了		

 事務事業コート 000800
 重点施策 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名 公民館祭開催事業
 所属名 企画推進部地域振興局 協働推進課

1	#	+	性	华	7

	III IIV						
位 総	体系区分	т П		名 称	事業区分名称	区分	
位置づけ	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち			事業期間	昭和57年度 ~ 全期
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たく	ましいひとづく	根拠法令、		
17 O	施策	1101	生涯学習の推進			依拠法市、 根拠計画等	
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似灰山画寺	
目 世 策	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数			7,487人	9,000人	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	市民1人あたりの図書貸出冊数			4.41冊	5.1冊	運営方法	その他
٥٫				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 公園	民館祭開催	費(協働推進課)			予算事業コード	01-09-04-06-19-01

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	市内61地区公民館及び1分館を拠点として活動している市民が、丹精込めて制作した作品の数々や練習を重ねた様々な分野の芸能などについて、1年間の成果を発表する場として開催し、公民館活動の活性化と生き生きとした地域づくりの推進を図る。
手段 (どうするのか)	鳥取市公民館連合会が主体となって事業の企画実施を行う。

3. 事業の年度別計画・実績	[PLAN·DO]
----------------	-----------

※年度別の取り組みを簡潔に記入

<u>ა.</u>	争表の:	<u> 平                                   </u>	· 夫楨 【PLAN·DO】	2】 ※年度別の取り組みを間深に記						
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
内容	年度	<b>E別計画</b>	した作品を展示する。 ) ②芸能発表会(61地区 公民館で学習した伝承 芸能、踊り等学習成果	①作品展示会(61地区 公民館で1年間に創作 した作品を展示する。) ②芸能発表会(61地区 公民館で学習した伝承 芸能、踊り等学習成果 の発表を行う。)	芸能、踊り等学習成果	①作品展示会(61地区 公民館で1年間に創作 した作品を展示する。) ②芸能発表会(61地区 公民館で学習した伝承 芸能、踊り等学習成果 の発表を行う。)	①作品展示会(61地区 公民館で1年間に創作 した作品を展示する。 ) ②芸能発表会(61地区 公民館で学習した伝承 芸能、踊り等学習成果 の発表を行う。)			
谷	年度	<b>E</b> 別実績	①作品展示会(参加者 数1,169人、出品点数2 ,208点) ,208点) ②芸能発表会(出演団 体数15団体、入場者数 465人)							
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)			
	事業費	貴(A+B)	575	0	0	0	0			
事	直接	経費 A	575	0	0	0	0			
業	古拉尔	国・県	0	0	0	0	0			
費	直接経 費の財	地方債	0	0	0	0	0			
	源内訳との他		0	0	0	0	0			
		一般財源	575	0	0	0	0			

#### 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		開催期間中の入場者	Į.	目標	1400	1400	1400	1400	1400		
	1		八	実績	1169	0	0	0	0		
汪		指標の説明) 基準値は平成27年度実績									
活動				目標	0	0	0	0	0		
指	2			実績	0	0	0	0	0		
標		(指標の説明)									
				目標	0	0	0	0	0		
	3			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)									

5.	平瓦	28年度の事務事業実					取り組みを具体	的に記入(予算	『事務事業の事	業概要と連動)
				問合せ先】	地区公月	民館係 0857-2	30-3172			
				【10次総の	施策体是	系】1101				
			l I	【予算計上の	経過】	当初予算(予	算事業別概要	なし)		
	事務事業の実施概要		息 な と	:取市公民館 地区公民館 :分野の芸能 ともに、出	公民館 まつま で活動 を来ま 品者の	」を実施。平原している市民で とでいる市民で をに観賞してい	舌動する市民が 成28年度で35回 が丹精込めて制 もらうこと習意 長者の練習意欲 惟進を図る。	目を迎える。  作した作品の 公民館活動に	数々や、練習を ついて理解を消	と重ねた様々 そめてもらう
			:   1	【事業の成果】 1. 委託先 鳥取市公民館まつり実行委員会(事務局:鳥取市公民館連合会) 2. 事業内容 ・作品展示会(61地区公民館で1年間に創作した作品を展示する。)						
				・芸能発表会(61地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。) 〔作品展示会〕平成26年度 参加者数 1289人 出品点数 2141点 平成27年度 参加者数 1323人 出品点数 1931点 平成28年度 参加者数 1169人 出品点数 2208点						
				- 一成26千度						
			<b> </b>				民が、1年間の	成果を発表す	る場として、毎	5年度実施す
_	、ナエ		3							
6.	<b></b> 古男	カ指標の達成率 【CHE	-CK』 指標名			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指	1	開催期間中の入場者				84%				
標達	2									
成 率	3									
<u> </u>	= <del>-</del> 7 / -	I TOUTOK!					l			
		5【CHECK】 5項目と評価の視点		評価内容			評価理由(言	平価の視点を踏	まえて記入)	
	年	度計画の進捗度		・画を上回る ・画どおり						
	が3月3	タブの入力結果を基に、年度の事業 床時点でどのような進捗状況かを選 い。	_	業未完了						
		事業の成果		標を上回る  標どおり						
		)入力結果を基に、年度末実績が目 きたかどうかを選択してください。		標を下回る						
8.	事業	<b>くかれる といれる といれる といれる といれる といれる といれる といれる とい</b>	後の方向性	生【ACTION	1]					
			□ 1. 拡□ 2. 改	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		1-1 意図的 1-2 制度的		□ 4-1 意[ □ 4-2 制]	図的に縮小 度的に自然減少	<del></del>
		今後の方向性	■ 3. 現口 4. 縮	<b></b> 状維持		2-1 手段等 2-2 効率化 2-3 他事業	の改善 に、簡素化		年実施等、意図 図的に廃止	
(Г±	う後の いるよ	課長の評価コメント )方向性」を判断した理由が う、数値等を用いた具体的 、今後の改善プランを記載)					する場として、毎年		~ · · · · · · · · ·	

 事務事業コート\*
 000900
 重点施策
 該当なし
 平成28年度 第10次鳥取市総合計画

 事務事業名
 公民館活動事業
 所属名
 教育委員会事務局
 生涯学習・スポーツ課

1. 基本情報

1. 02017	T I II TK						
位 総	体系区分	コード		名 称		事業区分名称	区分
位置づけ	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てがで	き、すべてのひとか	事業期間	全期	
づ盟	政策	01	豊かな心をもった、たく	ましいひとづく	)	根拠法令、	
けの	施策	1101	生涯学習の推進		依拠法市、 根拠計画等		
+/-	目標の種別			平成28年度	平成32年度	似灰山画寺	
担無施	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数			7,487人	9,000人	事業分類区分	ソフト(任意)
標の	市民1人あたりの図書貸出冊数			4.41冊	5.1冊	運営方法	直営
0,				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名 生活	<b></b> 医学習推進	事業費(生涯学習・スポ	ーツ課)		予算事業コード	01-09-04-01-07-01

2. 事業目的	[PLAN]
対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	地域に根付いた生涯学習活動を推進するため
手段 (どうするのか)	各コミュニティセンターにおいて生涯学習事業を開催する

3.	事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】 ※年度別の取り組みを簡潔に記									
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
内容	年度別計画		た各種事業を開催し、 地域に根差した生涯学	た各種事業を開催し、 地域に根差した生涯学	た各種事業を開催し、 地域に根差した生涯学	①各コミュニティセン ターで地域性を活かし た各種事業を開催し、 地域に根差した生涯学 習を推進	①各コミュニティセン ターで地域性を活かし た各種事業を開催し、 地域に根差した生涯学 習を推進			
	年度	<b></b> 医別実績	①各コミュニティセン ターで、地域性を活か した各種事業を開催 ≪実績≫ 8センター(各支所) 全41事業を実施							
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)			
	事業費(A+B)		2,358	0	0	0	0			
事	直接経費 A		2,358	0	0	0	0			
業	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0			
費		地方債	0	0	0	0	0			
		その他	0	0	0	0	0			
		一般財源	2,358	0	0	0	0			

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】 指標名 単位 区分 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 目標 18000 18500 19000 19500 20000 実績 18013 0 0 (指標の説明) 活動指標 目標 0 0 0 実績 0 (指標の説明) 目標 0 0 0 実績 3 (指標の説明)

	₹成28年度の事務事業実施材				がりし記入(予算	草事務事業の事	耒慨安と 建刬)			
-		【問い合わせ先】生	.涯学習係 0857	7-20-3362						
		【10次総の施策体	【10次総の施策体系】1101							
		【予算計上の経過】	【予算計上の経過】予算事業別概要目次:当初予算・P247 (教064)							
	事務事業の実施概要	【国府】高齢者講 【福部】図書推進 【河原】みたき大 【用瀬】みすみ大 【佐治】ふるさと 【気高】歴史講座 【鹿野】鹿野学講 【青谷】図書室お	【事業の概要】 各コミュニティセンター(旧基幹公民館)で、地域性を活かした各種事業を開催 【国府】高齢者講座(万葉学校)他4事業 【福部】図書推進事業 他3事業 【河原】みたき大学 他12事業 【用瀬】みすみ大学 他7事業 【佐治】ふるさとの歴史講座講師謝金 他2事業 【気高】歴史講座 他1事業 【鹿野】鹿野学講座 他1事業 【青谷】図書室おはなし会 他3事業 その他各種分室主催事業を実施							
			【事業の成果】 各コミュニティセンター (旧基幹公民館) を拠点として生涯学習を推進し、人づくり、 地域づくりに寄与した。							
		平成28年度から 実施してきた事業に	【今後の課題・方向性】 平成28年度から基幹公民館をコミュニティ施設へ移行したことに伴い、基幹公民館が 実施してきた事業について分室主催等へ移行して実施している。分室のあり方検討に関連 して事務事業の見直しが検討される中、地域における生涯学習の推進施策についても検討 を行う必要がある。							
6. 污	5動指標の達成率【CHECI		!			1	·			
$\vdash$	各コミュニティセンター実施事業参加	<b>標名</b> Iのベ人数	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
1141	1		100%							
▮標□	+		100%							
成	2		100%							
達 成 –	3		100%							
達 成 <b>-</b> 率			100%							
達成率 7. i	3 平価【CHECK】 平価項目と評価の視点	評価内容	100%	評価理由(記	平価の視点を踏	まえて記入)				
達成率 7. i	3 平価【CHECK】 平価項目と評価の視点 年度計画の准捗度	評価内容 1. 計画を上回る 2. 計画どおり	100%	評価理由(記	平価の視点を路	答まえて記入)				
達成率 7. 事業が 事業が	3  平価【CHECK】  平価項目と評価の視点  年度計画の進捗度  織]タブの入力結果を基に、年度の事業 引え時点でどのような進捗状況かを選	1. 計画を上回る   2. 計画どおり   3. 事業未完了	100%	評価理由(記	平価の視点を踏	替えて記入)				
達成率 7. 事業	3  平価【CHECK】  平価項目と評価の視点  年度計画の進捗度  編]タブの入力結果を基に、年度の事業 月末時点でどのような進捗状況かを選  ださい。  事業の成里	1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る	100%	評価理由(記	平価の視点を踏	替えて記入)				
達成率 7. 事制版でく 指標的	平価【CHECK】 平価項目と評価の視点 年度計画の進捗度 織別タブの入力結果を基に、年度の事業 別末時点でどのような進捗状況かを選 ださい。 事業の成果	1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標どおり 3. 目標を下回る		評価理由(記	平価の視点を踏	(まえて記入)				
達成率 7. 『事書画でく 指標達集 まかくく に指標を達成を ままからく できます かんしゅう アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・ア	3  平価【CHECK】  平価項目と評価の視点  年度計画の進捗度  欄タブの入力結果を基に、年度の事業 日月末時点でどのような進捗状況かを選 ださい。  事業の成果  プの入力結果を基に、年度末実績が目 成できたかどうかを選択してください。	1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標どおり 3. 目標を下回る	100%	評価理由(記	平価の視点を踏	なまえて記入)				
達成率 7. 『事書画でく 指標達集 まかくく に指標を達成を ままからく できます かんしゅう アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・ア	3  平価【CHECK】  平価項目と評価の視点  年度計画の進捗度  輸別タブの入力結果を基に、年度の事業 はおい。 事業の成果  プの入力結果を基に、年度末実績が目成できたかどうかを選択してください。	1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標どおり 3. 目標を下回る	1100%		平価の視点を路					
達成率 7. 『事書画は 7. 『指標』 1. 『表述』	3  平価【CHECK】  平価項目と評価の視点  年度計画の進捗度  綱19プの入力結果を基に、年度の事業 月末時点でどのような進捗状況かを選  ごの入力結果を基に、年度末実績が目域できたかどうかを選択してください。  ■ 第業の成果	1. 計画を上回る 2. 計画どおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標どおり 3. 目標を下回る 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	] 1-1 意図的	に拡充に自然増加	□ 4-1 意 □ 4-2 制	図的に縮小 度的に自然減少				
達成率 7. 『事書画は 7. 『指標』 1. 『表述』	3    F価【CHECK】   F価項目と評価の視点   「中価項目と評価の視点   「中価項目と評価の視点   「中度計画の進捗度   「明末時点でどのような進捗状況かを選   「アの入力結果を基に、年度末実績が目立てきたかどうかを選択してください。	1. 計画を上回る 2. 計画とおり 3. 事業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標をおり 3. 目標を下回る 1. はた 0方向性【ACTION】	] 1-1 意図的 ] 1-2 制度的 ] 2-1 手段等	に拡充 に自然増加 の改善	□ 4-1 意 □ 4-2 制 □ 5-1 臨	図的に縮小 度的に自然減少 年実施等、意図				
達成率 7. 『事書画は 7. 『指標』 1. 『表述』	3    F価【CHECK】   F価項目と評価の視点   「中価項目と評価の視点   「中価項目と評価の視点   「中度計画の進捗度   「同点でどのような進捗状況かを選定さい。」   「日本の人力結果を基に、年度の事業   「日本の人力結果を基に、年度末実績が目   「日本の人力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1. 計画を上回る 2. 計画を上回る 2. 計画業未完了 1. 目標を上回る 2. 目標を下回る 3. 目標を下回る ウ方向性【ACTION】	1-1 意図的   1-2 制度的   2-1 手段等   2-2 効事業   2-3 他事業	に拡充 に自然増加 の改善 、簡素化 との統合	□ 4-1 意 □ 4-2 制 □ 5-1 臨 □ 5-2 制 □ 5-3 制	図的に縮小 度的に自然減少 年実施等、意図 図的に廃止 度的に終了	的に休止			